

令和元年度
射水市公募提案型市民協働事業報告会

令和2年度
射水市公募提案型市民協働事業審査会



日 時 : 令和2年2月1日(土)

【報告会】午後1時30分～

【審査会】午後2時00分～

場 所 : 射水市役所 3階302・303会議室

射水市市民生活部

地域振興・文化課

次 第

1 令和元年度公募提案型市民協働事業報告会 開会

2 提案団体による事業報告

- ①特定非営利活動法人 水辺のまち新湊
(ふるさと再発見「甦れ内川！ー魚・水・環境ー」)
- ②小杉まちづくり協議会
(「We Love 右門」ー生誕 300 年の記念すべき年にー)
- ③富山福祉短期大学
(学校における性の多様性に関する理解促進事業)
- ④のじた踊り屋台保存会
(のじた盆踊り継承事業)

3 令和2年度公募提案型市民協働事業審査会 開会

4 審査委員の紹介及び進行説明等

5 提案団体によるプレゼンテーション

【テーマ型】「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った事業

- ①一般社団法人 里山金山の会
(若い世代が活動して育てる田舎～射水南部丘陵(里山)魅力発信～)
- ②富山福祉短期大学
(FUKUTAN 健康寿命延伸プロジェクト)

【フリー型】NPO法人と地域振興会との連携事業

- ③特定非営利活動法人 健康麻将越中ひばり会
(ひきこもり対策『家族健康麻将』推進事業)

6 閉会

1 射水市公募提案型市民協働事業報告会・審査会スケジュール

13:00～	受付
13:30～	<p>令和元年度公募提案型市民協働事業報告会 ※1団体5分程度</p> <hr/> <p>1 特定非営利活動法人 水辺のまち新湊 「ふるさと再発見『甦れ内川！一魚・水・環境一』」</p> <p>2 小杉まちづくり協議会 『We Love 右門』一生誕300年の記念すべき年にー」</p> <p>3 富山福祉短期大学 「学校における性の多様性に関する理解促進事業」</p> <p>4 のじた踊り屋台保存会 「のじた盆踊り継承事業」</p>
14:00～	<p>令和2年度公募提案型市民協働事業審査会 開会</p> <hr/> <p>審査委員の紹介及び進行説明等</p>
14:15～ 15:15	<p>提案団体によるプレゼンテーション ※提案書が受理された受付順</p> <hr/> <p>【テーマ型】「射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿った事業</p> <p>1 一般社団法人 金山里山の会 「若い世代が活動して育てる田舎 ～射水南部丘陵（里山）魅力発信～」</p> <p>2 富山福祉短期大学 「FUKUTAN 健康寿命延伸プロジェクト」</p> <p>【フリー型】NPO法人と地域振興会との連携事業</p> <p>3 特定非営利活動法人 健康麻将越中ひばり会 「ひきこもり対策 『家族健康麻将』推進事業」</p>
15:20	閉会

2 発表方法

【令和元年度公募提案型市民協働事業報告会】

- ・発表時間は、1団体5分間とします。
- ・発表開始後、4分30秒経過時にベルを1回、5分経過時に2回鳴らします。

【令和2年度公募提案型市民協働事業審査会】

- ・発表時間は、1団体7分間とします。
- ・発表開始後、6分経過時にベルを1回、7分経過時に2回鳴らします。
- ・発表後の審査委員からの質疑応答は8分間です。
- ・質疑応答開始後、7分経過時にベルを1回、8分経過時に2回鳴らします。

3 審査基準

項目	審査ポイント
課題解決	①地域課題や市民ニーズを捉えたものであるか。 ②公益性・社会貢献的な事業であるか。 ③募集のテーマに沿った事業内容であるか。
協働の効果 事業の効果	①協働の役割分担が明確かつ妥当であるか。 ②協働で実施することにより、相乗効果が期待できるか。 ③市民の満足度が高まり、具体的な効果や成果が期待できるか。
事業の実現性	①計画どおりに事業実施が可能であるか。 ②市が実施するより、サービスの向上が図られるか。 ③予算の見積もり等が適正であるか。
提案団体の実施能力	事業を実施する上での専門的な知識や経験を有し、提案事業の実施が可能であるか。
先駆性・独自性	①新しい視点から取り組む事業であるか。 ②工夫やアイデアが盛り込まれているか。
自立性・持続性	①自己努力による資金確保に努めているか。 ②自立的に発展していくことが期待できるか。 ③継続性を期待できるか。

4 採択事業の決定

提案事業の採否は、後日審査結果を基に市長が決定します。

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 一般社団法人 金山里山の会

事業の名称	若い世代が活動して育てる田舎 ～ 射水南部丘陵（里山）魅力発信 ～	
事業の目的	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ）</p> <p>森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供などの極めて多くの多面的機能を有しており、私たちの生活と深くかかわっている。（林野庁：森林の有する多面的機能 別紙1参照）</p> <p>しかし、射水南部丘陵地の里山は、近年、原生林化が進み、樹木の更新も行われず、荒廃が進み、生態系も変化し、鳥獣被害にも悩まされている。また、人口減少や高齢化に伴い、持続可能な里山整備も危ぶまれている。</p> <p>そこで、教育やスポーツなどで里山の利活用を進め、若い世代が里山の良さを体験し、里山への交流人口を増やすこと等で、持続可能な里山整備を目指す。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>（誰を）</p> <p>地域住民、射水市の市民、里山に興味のある方</p>
	手法	<p>（いつ、何を、どのように等）</p> <p><u>1. 里山整備</u></p> <p>（1）森林整備（月4回） 20年周期で再生する里山を目指し、整備区間を決め、木々の伐採を行い、間伐木を利用した薪づくりを行う。</p> <p>（2）林道整備草刈隊（1回/年） 金山地区活動の各団体等に呼びかけ、金山地区の山道（遊歩道等）の草刈り整備を実施する。</p> <p><u>2. 里山ワークショップ</u>（1回/年） 地域住民20代～40代や市内の学生などに、金山地域や南部丘陵地に関する意見等を聴き、今後の活動に役立てる。</p> <p><u>3. 里山の利活用</u></p> <p>（1）里山体験交流会（2回/年） 射水市内のNPO法人や高等教育機関（富山県立大学等）等と連携をはかり、子育て家族、不登校や引きこもり者本人や家族に、里山体験活動を実施し、里山の魅力を体感してもらう。</p> <p>（2）スポーツによる林道活用（1回/年） 人が入ることにより森林の荒廃を防ぐことを目的とし、林道を活用したジョギングコース、マウンテンバイクによるシクロクロスコースの見学会を実施する。</p> <p><u>4. 射水丘陵里山の見える化</u> 射水丘陵里山の自然資源(例:ほたる生息地)や施設、活動場所等が、一目でわかる航空写真等を作成し、里山の利活用の企画時や他分野などに活用する。</p>
	目標	<p>（具体的な指標、数値目標等）</p> <p>1. (1)森林整備 3ha、述べ150名 (2)林道整備草刈隊 70名 2. ワークショップ 30名 3. (1)体験交流会 40名 (2)スポーツ活用 20名 ☆ 交流人口の増加 ☆ 里山に興味がある若い人たちのネットワーク構築</p>

協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>「多面的機能を持つ森林・林業の育成」「ふれあい空間「里山」の整備」を協働で取り組むことにより、市民全体への認知度も高まり、低コストで大きな効果が期待できる。また、当法人の会員には、森林所有者や若い世代が多く、地域自ら、市と協働で取り組むことにより、若い人たちが定住・移住しやすいフィールドを創ることができる。</p>																																																								
役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業の実施 <p>(事業実施に伴う市の役割 ※フリー型提案の場合は地域振興会の役割も記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業に対する指導・助言及び財政的支援 ・情報提供と広報に関する支援 ・地域おこし協力隊の協力 (スポーツイベント、移住促進) 																																																								
事業スケジュール (別紙添付でも可)	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <table border="1" data-bbox="427 801 1417 1350"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">1. 里山整備</th> <th>2. 里山ワークショップ</th> <th colspan="2">3. 里山の利活用</th> <th>4. 里山案内図</th> </tr> <tr> <th></th> <th>(1) 森林</th> <th>(2) 林道</th> <th></th> <th>(1) 体験</th> <th>(2) スポーツ</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3月まで</td> <td>準備</td> <td></td> <td>企画準備</td> <td colspan="2">企画準備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月～6月</td> <td>整備実施</td> <td>企画準備</td> <td>〃</td> <td colspan="2">企画準備・連携団体や大学との協議・調整</td> <td>企画準備、情報収集</td> </tr> <tr> <td>7月～9月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>実施</td> <td colspan="2">募集・実施</td> <td>情報収集等</td> </tr> <tr> <td>10月～12月</td> <td>〃</td> <td>実施</td> <td></td> <td colspan="2">〃</td> <td>完成</td> </tr> <tr> <td>1月、2月</td> <td>薪割り</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td colspan="6">報告書作成</td> </tr> </tbody> </table>		1. 里山整備		2. 里山ワークショップ	3. 里山の利活用		4. 里山案内図		(1) 森林	(2) 林道		(1) 体験	(2) スポーツ		3月まで	準備		企画準備	企画準備			4月～6月	整備実施	企画準備	〃	企画準備・連携団体や大学との協議・調整		企画準備、情報収集	7月～9月	〃	〃	実施	募集・実施		情報収集等	10月～12月	〃	実施		〃		完成	1月、2月	薪割り						3月	報告書作成					
	1. 里山整備		2. 里山ワークショップ	3. 里山の利活用		4. 里山案内図																																																			
	(1) 森林	(2) 林道		(1) 体験	(2) スポーツ																																																				
3月まで	準備		企画準備	企画準備																																																					
4月～6月	整備実施	企画準備	〃	企画準備・連携団体や大学との協議・調整		企画準備、情報収集																																																			
7月～9月	〃	〃	実施	募集・実施		情報収集等																																																			
10月～12月	〃	実施		〃		完成																																																			
1月、2月	薪割り																																																								
3月	報告書作成																																																								
事業効果	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の整備、魅力発信 ・子どもの健全育成の場の提供 ・スポーツ等の健康増進の場の提供 ・交流人口の増加による地域活性化 																																																								
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な里山の仕組みの構築 ・次世代に向けた自然と親しむ子育て環境の創設 ・自然体験やスポーツを活用した田舎と都市との交流発展 ・人と里山が薪づくりや里山副産物の生産による経済性の仕組みの創設 ・若い世代の定住や移住の増加 																																																								

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 富山福祉短期大学

事業の名称	FUKUTAN 健康寿命延伸プロジェクト	
事業の目的	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <p>健康寿命の延伸に向けて、介護予防への取り組みは重要な課題となっている。また、介護が必要となった原因として「認知症」が上位を占めており、「認知症」予防対策の普及、「認知症」の早期発見と適切な対処方法の実践支援などが行政として強く求められている。一方、市民としては、介護予防特に「認知症」予防に対する知識・意識の向上と実践が重要と考えられる。</p> <p>本事業では、一般的に認知機能改善にも繋がると言われている運動について、その運動効果を、IADL, LSA 及び認知機能の観点からエビデンスを蓄積し、その結果を公開することで、市民の健康寿命延伸に対するモチベーションに繋げるとともに、継続的運動実施者の増加に繋げる。また、市民に健康・行動能力向上に関する知識と実践の機会を提供するとともに、社会参加が活発でない高齢者が健康づくりへ取り組みやすいプログラムを企画・立案し、その実践を行う中で、地域の健康づくりをリードする人材育成を図る。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(誰を)</p> <p>健康づくり、介護予防に興味があり、自立歩行が出来る射水市民</p>
	手法	<p>(いつ、何を、どのように等)</p> <p>①定期的運動実施者の活動能力、認知機能の視点での実態調査。 運動等を定期的 (100 歳体操 : 1 回/週) に実施しているグループを中心に、3 か月、6 か月、12 カ月後に JST 版 IADL (日常動作の中でもより頭を使って判断する事が求められる動作に関する能力指標) 調査、LSA (個人の移動を評価する指標) 調査、認知機能チェック等を行う事で、運動等の継続性、日々の活動の重要性を示す。</p> <p>②健康寿命延伸のための運動教室の実施 健康づくりのためのプログラム (運動教室) を月 1 回の集団指導型で実施し、併せて、認知症予防、介護予防等の講義・実践を月 1 回の頻度で実施し、参加者には、プログラム以外の日常の中でも健康づくりの意識を持って活動できるよう意識・行動変容を促す。そのため、定期的な活動能力等も調査する。</p> <p>③IT を活用した仲間づくりプログラムの実施 平成 31 年 4 月に立ちあげた「ポケットサロン小杉」を中心に運営する。当面は、スマートウォッチ (血圧や脈拍等の常時計測) とスマートホンの連携で自分の健康管理を行う事を実践しながら、スマートホンを活用して仲間同士の交流を深める。次に、地域振興会を通して、まず福祉委員、民生委員等をサロンに招待し、健康づくりのための仲間を増やしていく。そして、地域の健康づくりの意識向上を図る。</p>
	目標	<p>(具体的な指標、数値目標等)</p> <p>運動教室参加者 20 名以上 / ポケットサロン小杉参加者 10 名以上</p>

<p>協働事業として 取り組むことの 必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>行政機関としては、医療・介護費用の削減のためには健康寿命延伸は、非常に大きな重要な課題として、介護予防、認知症予防のための取り組みを推進されている。一方、本学には介護予防、認知症予防等に関する専門知識、ノウハウ等を持った人材を多く有しており、運動や行動がもたらす効果等を科学的データとして収集・分析が可能である。本事業を協働事業として進める事で、介護予防・認知症予防のために必要な取り組みをより効率よく普及展開可能となると考える。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症、介護予防等に関する専門知識やこれまでの実績を基に、本事業の目的である健康寿命延伸のために、科学的データに基づいた施策の方向性の提案及び地域における健康づくり・街づくりのリーダー育成への貢献 <p>(事業実施に伴う市の役割 ※フリー型提案の場合は地域振興会の役割も記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報いみず、市のHP、ケーブルテレビ等を通じた本事業参加者への広報活動及び、事業効果に関する市民への周知・啓蒙
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①定期的運動実施者の活動能力、認知機能の視点での実態調査。 別紙1参照 ②健康寿命延伸のための運動教室の実施 別紙2参照 ③ITを活用した仲間づくりプログラムの実施 別紙3参照
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①三ヶ、戸破を中心とした地域住民の健康行動に関する意識の向上、健康維持・増進による健康寿命延伸への貢献が期待できる。 ②認知症に対する意識の変化（早期発見で、介護を必要としない、あるいは介護期間を短縮して寿命を全う出来る。よりフランクに認知症に関する話出来る。）が期待できる。 ③健康づくりに関する情報発信・普及啓発活動の継続的な自主的展開が期待できる。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動教室参加者増を図り、ビジネス展開へつなげていく。 ・地域での健康寿命延伸のための定期的健康チェックイベントへつなげ、地域の健康寿命延伸に貢献する。

添付資料

(別紙1)

事業スケジュール

①定期的運動実施者の活動能力、認知機能の視点での実態調査

時期	概要	備考
2020/4	100歳体操実施者への協力依頼	地域振興会通じて
2020/5 ~ 2021/3	3か月後、6か月後、12か月後の調査実施 ・100歳体操実施者 健康チェック (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST版 IADL、LSA、経験年数等を調査する。)	
	・調査時には、調査会場にて講習会(介護予防等に関する知識の提供と実践)を実施する。	
2021/2	報告書作成	
2021/3	結果報告会	

事業スケジュール

①健康寿命延伸のための運動教室の実施

		備考
2020/4 ~ 2020/5 :	運動教室参加者 募集	HP、市報、CATV
2020/6 :	運動教室 開始 講演会開催 運動教室参加者 健康チェック (初回) (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST 版 IADL、LSA、経験年数等を調査する。)	2 回/月 1 回 NPO 笑顔スポーツ学園 特別外部講師
2020/8 :	↓ 運動教室 実施 (+ 介護予防、認知症予防の実践講座) ↓ 運動教室参加者 健康チェック (3ヶ月後) ↓ (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST 版 IADL、LSA 等を調査する。)	1 回/月 NPO 笑顔スポーツ学園
2020/11 :	運動教室 実施 (+ 介護予防、認知症予防の実践講座) 運動教室参加者 健康チェック (6ヶ月後) (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST 版 IADL、LSA 等を調査する。)	1 回/月 NPO 笑顔スポーツ学園
2021/02 :	運動教室 実施 (+ 介護予防、認知症予防の実践講座) 運動教室参加者 健康チェック (9ヶ月後) (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST 版 IADL、LSA 等を調査する。)	1 回/月 NPO 笑顔スポーツ学園
2021/03 :	運動教室 実施 (+ 介護予防、認知症予防の実践講座) 結果報告会 報告書作成	1 回/月 NPO 笑顔スポーツ学園

事業スケジュール

② IT を活用した仲間づくりプログラムの実施

時期	概要	頻度等	備考
2020/4 :	「ポケットサロン小杉」 広報・会員募集開始 ↓ 併せてサポータの募集		HP ・ 市報 ・ 新聞 CATV
2020/5 :	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者への健康意識に関するアンケート調査 ・ 健康チェック (初回) 実施 (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST 版 IADL 、LSA 等を調査する。) 		
2020/6 :	スマートフォンの活用になれる ・ 使用しているスマホのカルテづくり	1 回/月	NPO 地域学習
2020/8 :	スマートウォッチとスマホの連携 ・ スマートウォッチ (血圧、脈拍等を常時測定し、スマートフォンに記録) ↓ を貸与し、個人の健康データを自分のスマホで管理する事を学ぶ。	1 回/月	NPO 地域学習
2020/10 :	スマートウォッチとスマホの連携 ・ スマートウォッチ (血圧、脈拍等を常時測定し、スマートフォンに記録) を貸与し、個人の健康データを自分のスマホで管理する事を学ぶ。 ・ 健康チェック (6 か月後) 実施 (レーダ計測、脚力、反射能力、認知機能チェック等の実施。 JST 版 IADL 、LSA 等を調査する。) ・ 地域の役員等の参加勧誘 ・ 地域への出前講座 (特に、認知症予防、介護予防等) : 本サロンでの企画	1 回/月	NPO 地域学習
2020/11 :	会員同士の交流にスマートフォンを活用する ↓ ・ 地域への出前講座 (特に、認知症予防、介護予防等) : 本サロンでの企画	1 回/月	NPO 地域学習
2021/02 :	スマートフォンの役立つアプリケーションの活用 ・ 報告書作成	1 回/月	NPO 地域学習
2021/03 :	スマートフォンの役立つアプリケーションの活用 ・ 参加者への健康意識に関するアンケート調査及び ・ 健康チェック (12 か月後)	1 回/月	NPO 地域学習

期間中において、地域への出前講座を実施 (講師は、富山福祉短期大学教員予定)

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 NPO法人健康麻将越中ひばり会

事業の名称	ひきこもり対策 『家族健康麻将』推進事業	
事業の目的	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <p>これまで、NPO 法人健康麻将越中ひばり会は、単なる健康麻将愛好家のサロンや交流大会の開催をして、『賭けない・飲まない・吸わない』をモットーに地域社会に貢献してきました。今や、高齢者の方々の認知症対策としての参加や、多くの女性や子供たちの参加も得るようになってまいりました。昨今、この健康麻将の会員交流の中で、『8050問題や介護困窮やひきこもり』等の家族問題が、「深刻」に語られるようになり、『健康麻将』の手法を社会問題となっているそれらの諸問題に貢献できないかと、地元地域振興会や市社会福祉課等の窓口にご相談を重ね、ここに、太閤山地域振興会をモデル地区とし、8050問題で悩む家族らに『家族健康麻将』を推奨し、家族・家庭の団欒と近隣住民との交流の場を提供し、また地域振興会や越中ひばり会が、その相談窓口となることにより、8050問題やひきこもりなどの対策や新たな住民の健康についてを事業の目的とします。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(誰を)</p> <p>当面太閤山地域振興会の地区を軸に、相談会を開催し、以降射水市在住の方も対象とします。</p>
	手法	<p>(いつ、何を、どのように等)</p> <p>第1期 『8050問題やひきこもり』などに関する研究会を、その家族会の方や専門職の方を招き、会員や地域住民の知識向上のための研修会を開催します。</p> <p>第2期 『家族健康麻将』の促進イベントを開催し、福祉頭脳ゲーム『ひばりん』を使用し、親子兄弟など家族での団欒を目的としたゲームの推進を図ります。 ※『ひばりん』・・・富山県産の木材を使用し、富山湾の海産物の絵合わせ（ドンジャラ）ゲームです。 ※当面、『家族健康麻将』の体験会は、太閤山サロン会場で行います。</p> <p>第3期 『8050問題やひきこもり』などに関する情報交換会や相談会の窓口は、毎週土曜日に開催している南太閤山サロン会場で行います。</p>
	目標	<p>(具体的な指標、数値目標等)</p> <p>① 太閤山地区住民を対象とし、この問題に関心のある方々に呼びかけ、定員40名の研修会を年4回開催します。</p> <p>② 一般家庭の親子が参加できるイベントを開催します。</p> <p>③ 健康麻将サロン各会場での随時情報交流や相談・体験もできます。</p>

<p>協働事業として 取り組むことの 必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>昨今の報道などによると、『8050問題やひきこもり』などの課題は、国家的事業とされ、県市が大きな問題としております。また、地域振興会においても少子高齢化が急激に進む中、独居老人問題なども大きな門井としており、『ひきこもり対策』を当会としても『健康麻将』が単なる愛好家を対象とした団体としてだけではなく、家族家庭の団欒のコミュニケーションツールとしての『家族健康麻将』を立証し、地域貢献することです。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>『8050問題やひきこもり』などに関する研修会の開催 『家族健康麻将』体験会の開催 情報交流会や相談会の開催。</p> <p>(事業実施に伴う市の役割 ※フリー型提案の場合は地域振興会の役割も記載)</p> <p>市広報などでの本事業の紹介 地域振興会(会場の提供)と協働での研修会の開催</p>
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>令和2年4月より準備期間として以下を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 8050問題やひきこもりなどの研修会開催計画の立案。 講師や会場設定企画。ポスターチラシの配布 ※事業開催 6月・8月・10月・12月の4回 2) 家族健康麻将親子大会の開催。 実施日、会場の選定。 ※事業開催 2月 3) 健康麻将サロン会場での家族健康麻将・相談会の開催(体験会) ※事業開催 5月より、毎週火曜日太閤山コミュニティセンターにて開催。
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組むことで、どのような効果が期待できるか。)</p> <p>市民の大きな課題である『8050問題、ひきこもり問題』などを広く当会会員と共有することにより、『8050問題、ひきこもり問題』の課題が、会員と共に『家族健康麻将』として展開が期待され、富山県、射水市との協働による地域住民を巻き込んだ『ひきこもり』対策としての活用方法となります。愛好家だけの健康麻将から、家族(親子兄弟)のコミュニケーションツールとしての『家族健康麻将』として多くの市民参加のひきこもり対策事業としての効果が期待できます。また、この事業は、家族団欒のメニューとしても活用が期待され、安心安全なまちづくり、支え合い助け合いのあるまちづくりにも貢献すると思われます。</p>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>本事業は、国外の『台湾』における『家族麻将による団欒するライフスタイル』をモデルとし、台湾における家族(親子兄弟)強い家族愛を想定しています。当会が、従来会員を軸に『賭けない・飲まない・吸わない』健康麻将の遂行と認知症予防対策の健康麻将として特に高齢者の方々に定着してきました。今回は、その『家族健康麻将』のより『8050問題、ひきこもり問題』などの喫緊の課題の対策の一環として『市民が・家族が、会話のある、家族の団欒の手法として』活用していただき、安心のあるまちづくりに貢献できるものと思ひます。</p>

射水市市民生活部 地域振興・文化課

〒939-0294 射水市新開発4 1 0番地 1

TEL : 0 7 6 6 - 5 1 - 6 6 2 2

FAX : 0 7 6 6 - 5 1 - 6 6 5 4

E-mail : chiikibunka@city.imizu.lg.jp

